

プッシュロック機構付ドアストッパー

埋込タイプ（上下調整機能付）^{PAT} 取付施工手順書



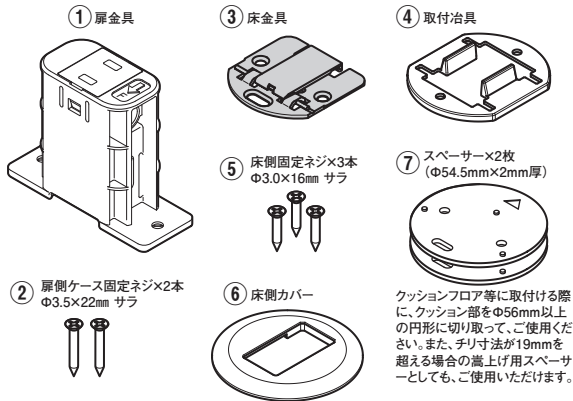
取付時のご注意

【クッションフロア、カーペット上取付禁止】 床金具をクッションフロアやカーペット（ソフトカーペットを含む）の上に直接取り付けないでください。取り付け面が不安定なため、正常に作動せず、故障や事故の原因となります。

【取付位置】 戸先から100mm範囲内に取り付け、取付治具を使用して本体の上下調整を行なってください。取付治具の使用により、適切な高さ（床～扉金具本体チリ寸法：約11mm）に、容易に合わせることができます。

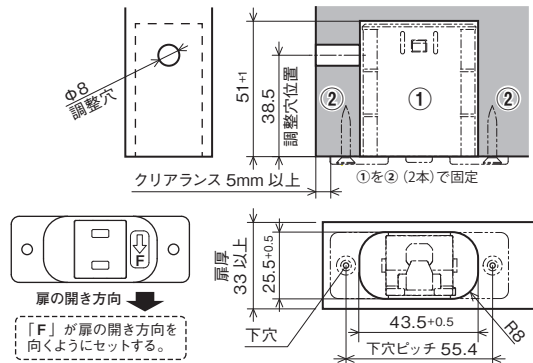
【電動ドライバーによる締め込み禁止】 固定ネジの締め込みは、手動ドライバーで行なってください。

『梱包部品』

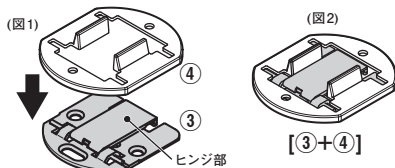


『扉金具取付図』 扉の掘込みに①をセットし、②で固定します。

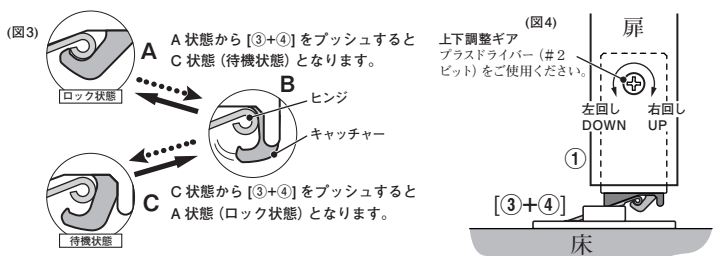
※下図の表記寸法は、扉掘込寸法です。
掘り込みには、Φ16以下のルータをご使用ください。



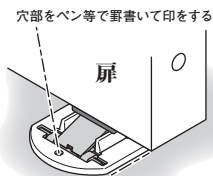
1 ③の上に④をかぶせて(図2)のように組合わせず。



2 (図3)のAの状態になるように、キャッチャーとヒンジを組合わせず。
次に(図4)を参考に、上下調整ギアを回して①の本体部を④の高さに調整します。

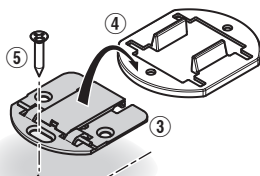


3 ③を固定する任意の位置まで扉ごと移動し、④の穴を罫書きする。

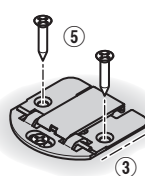


側面も罫書きしておく、③を固定する際に方向を合わせやすくなります。
⑥(床側カバー)をかぶせる際に線がはみでないように、④の直線部より短く罫書きしてください。

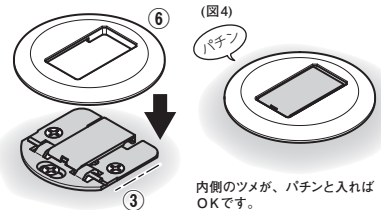
4 ③+④から④を外し、手順③で罫書いた印を基準に、③の長穴部を⑤で仮固定します。



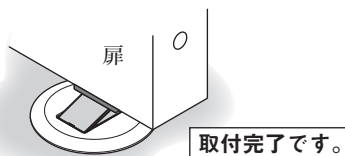
5 向きを確認しながら残りの穴を⑤で固定し、長穴部を含む3本をしっかりと固定します。



6 ⑥を③の上に(図4)のようにかぶせます。

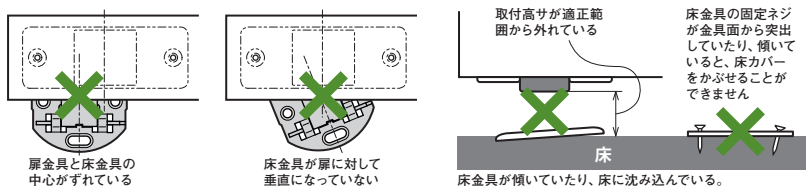


7 最後に扉を開閉させ、ロック/ロック解除の操作を問題なく行えるか確認して、取付完了です。



NG施工例

下図のような取付方は、機能が正常に働かず、装置本体や、扉・取手・壁・床等の周囲部材に破損を生じる原因となりますので十分ご注意ください。



※必ず戸先から100mm範囲内に取り付けて下さい。吊元側への取り付けは、絶対に厳禁です。装置本体や、周囲部材の破損につながります。

【使用上のご注意】

- 限度を超える速度（秒速1.8m以上）で扉を開けると装置が反応せず、扉が床金具の上を通過してしまう恐れがあります。
- ロック状態から、扉を無理矢理引っ張ると、本体の調整高さがずれたり、装置や周囲部材の破損、事故につながる恐れがありますのでおやめください。
- 上記ご注意を守っていただけない場合は、装置・扉・周囲部材の破損や事故につながる恐れがあります。必ず守ってください。
- 上記要因や、誤操作、施工不良、分解・改造による故障に対し、当社は一切の責任を負わないものと致します。
- デザインや仕様は、予告なく変更することがあります。